

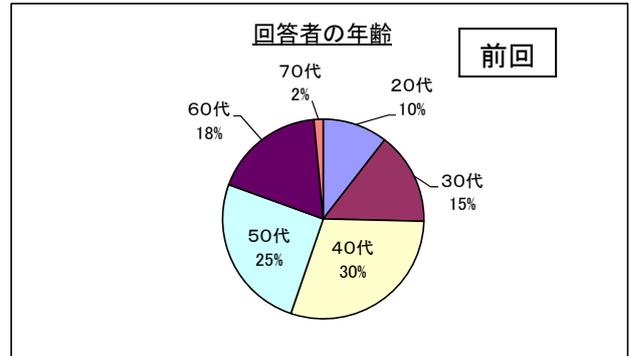
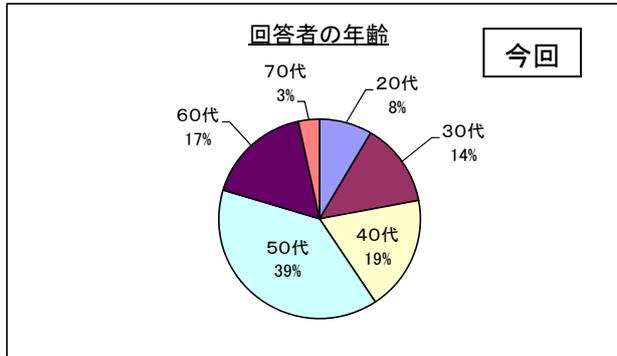
EST普及推進フォーラム アンケート集計結果

(今回総数 60 件)

(前回総数 69 件)

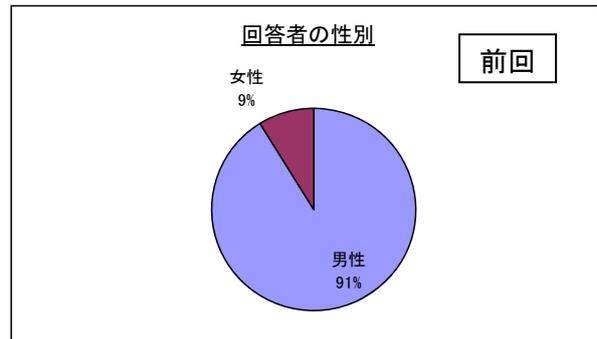
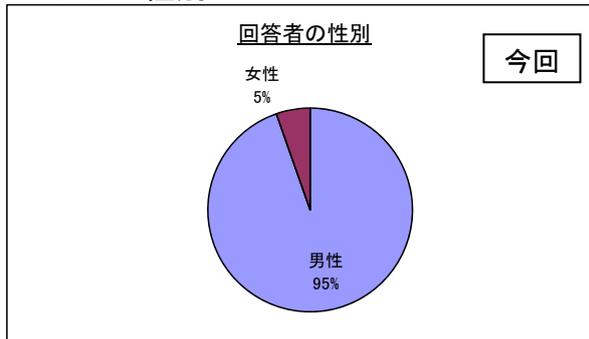
I あなたご自身についてお聞きします。

Q 1 年齢



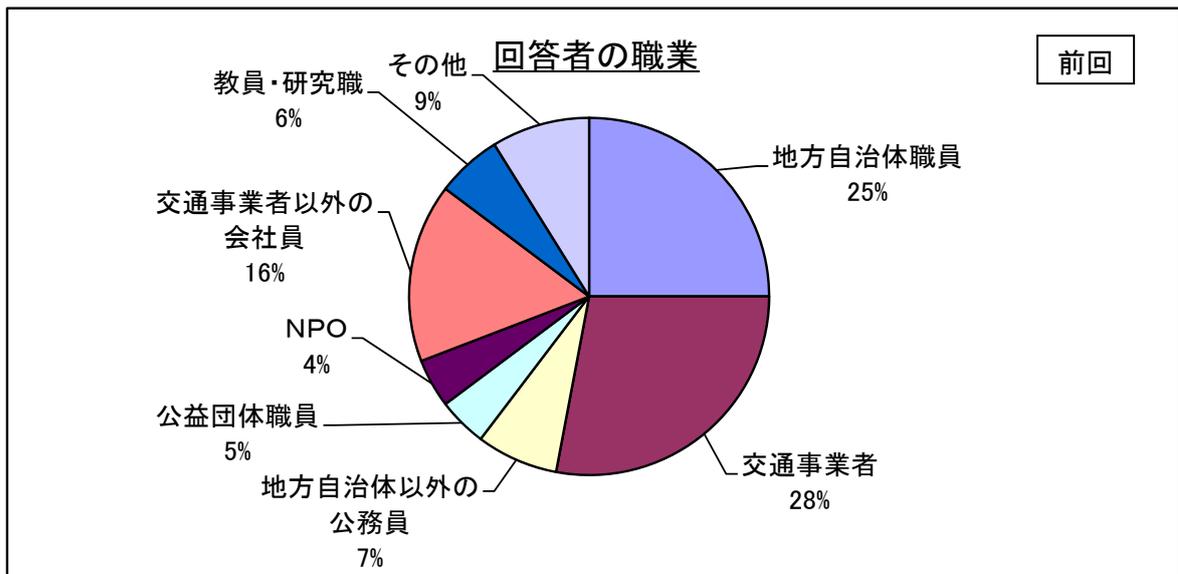
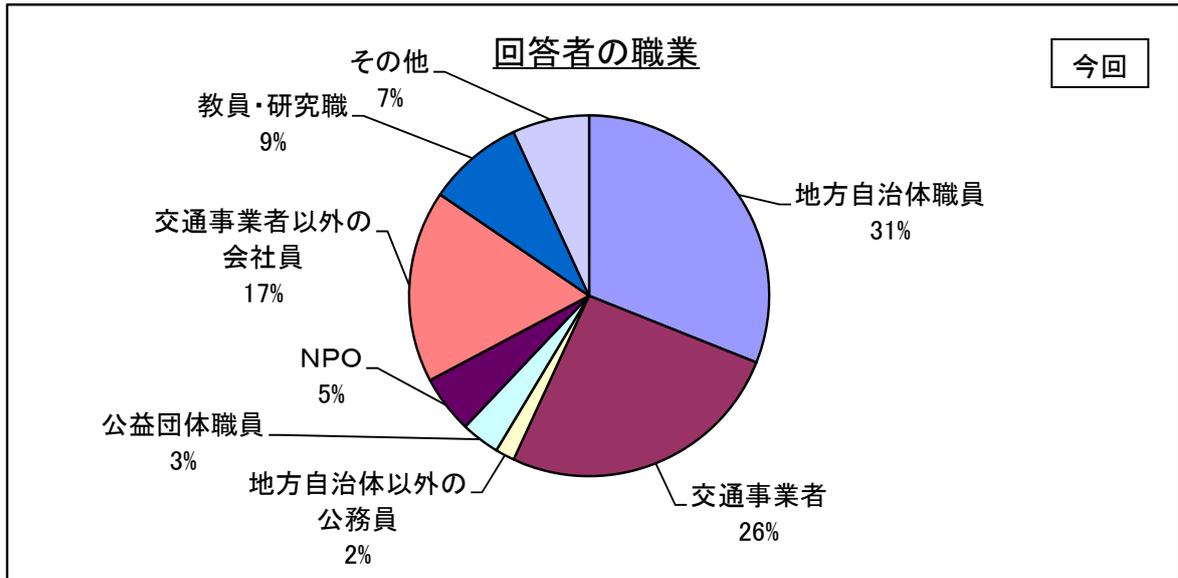
・前回と比べて40代が減少し50代が増加しているが、各世代からの参加があった。

Q 2 性別



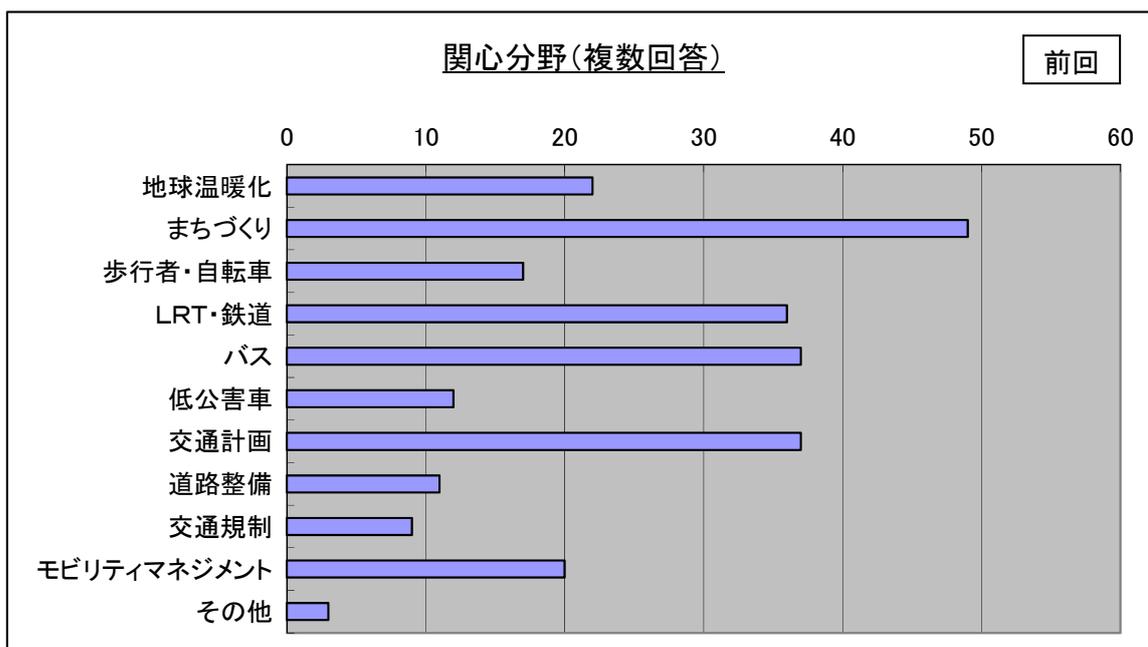
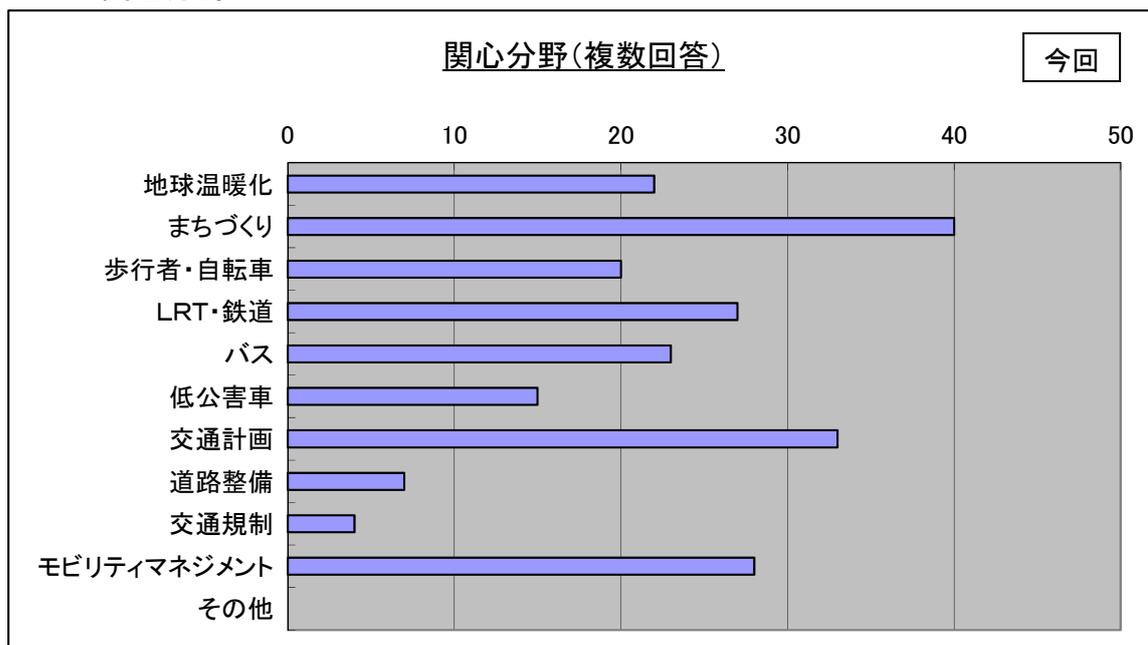
・前回と同様、男性の参加者が多くなっている。

Q 3 職業



- ・ 主な参加者は、地方自治体職員、交通事業者、交通事業者以外の会社員であり、前回と比較して、地方自治体職員の割合が増えた。

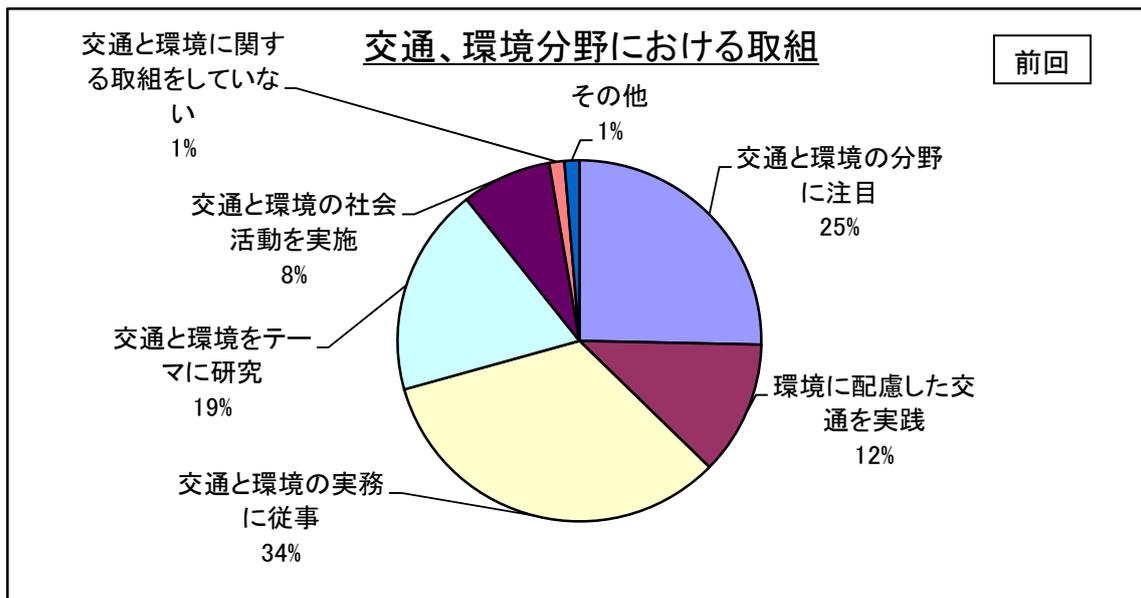
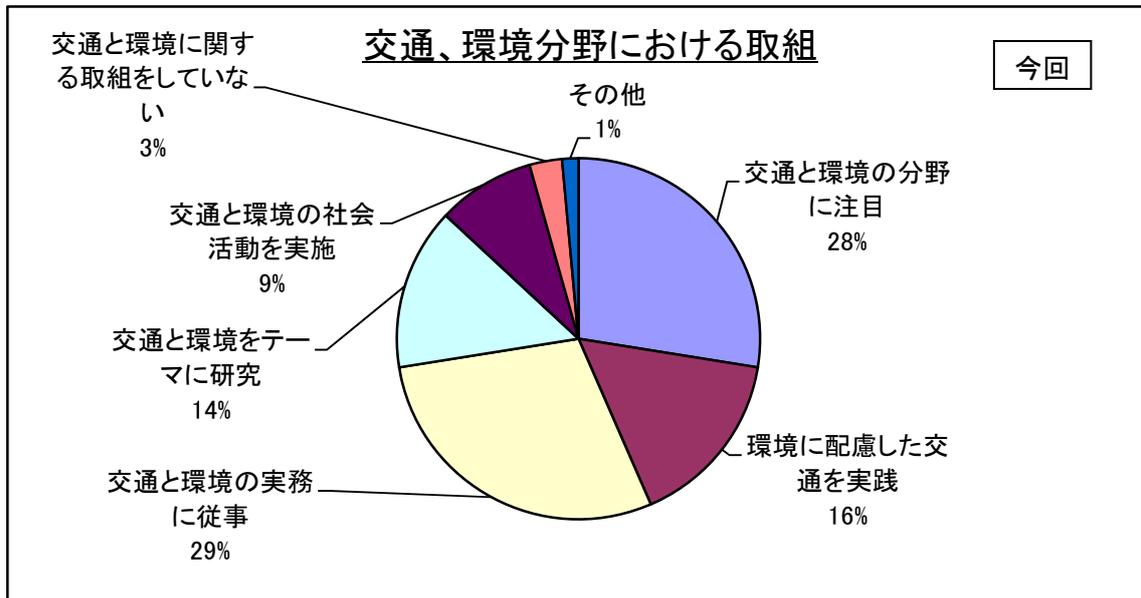
Q 4 関心分野



・前回と同様、まちづくり、交通計画に興味があると回答した参加者が多く、前回と比較して、モビリティマネジメントに興味があると回答した参加者が増えた。

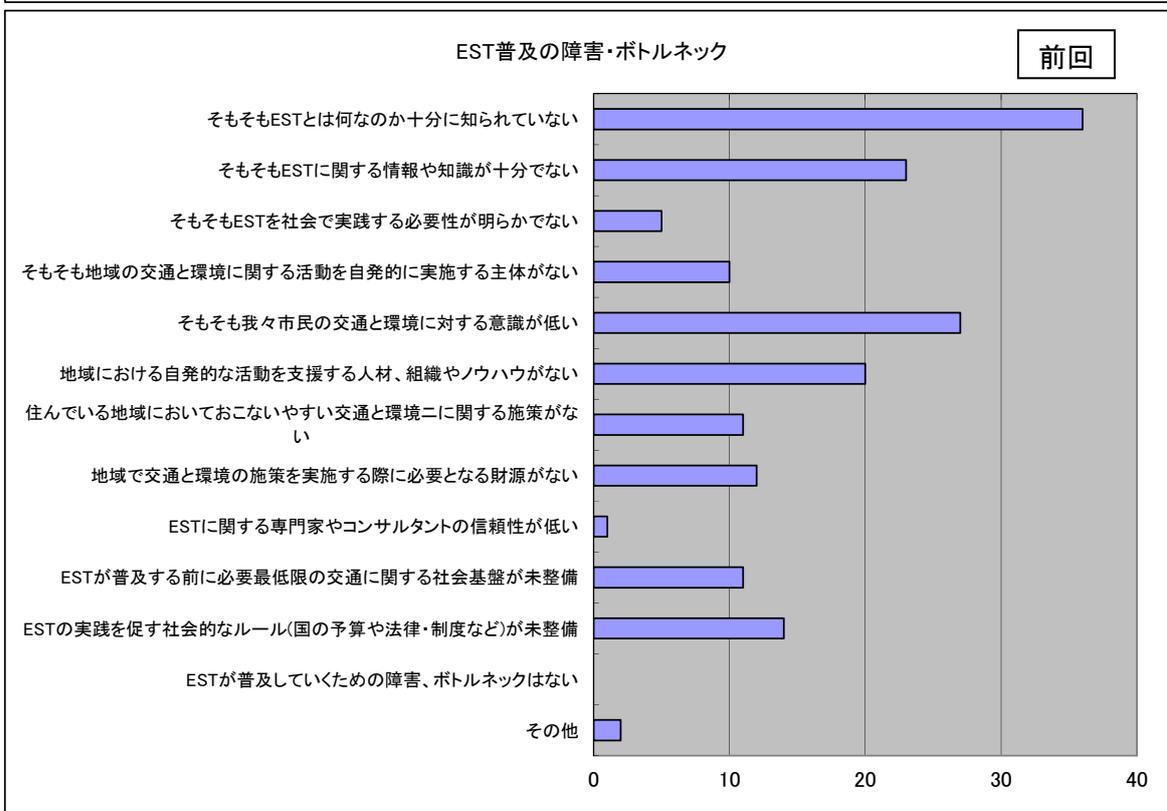
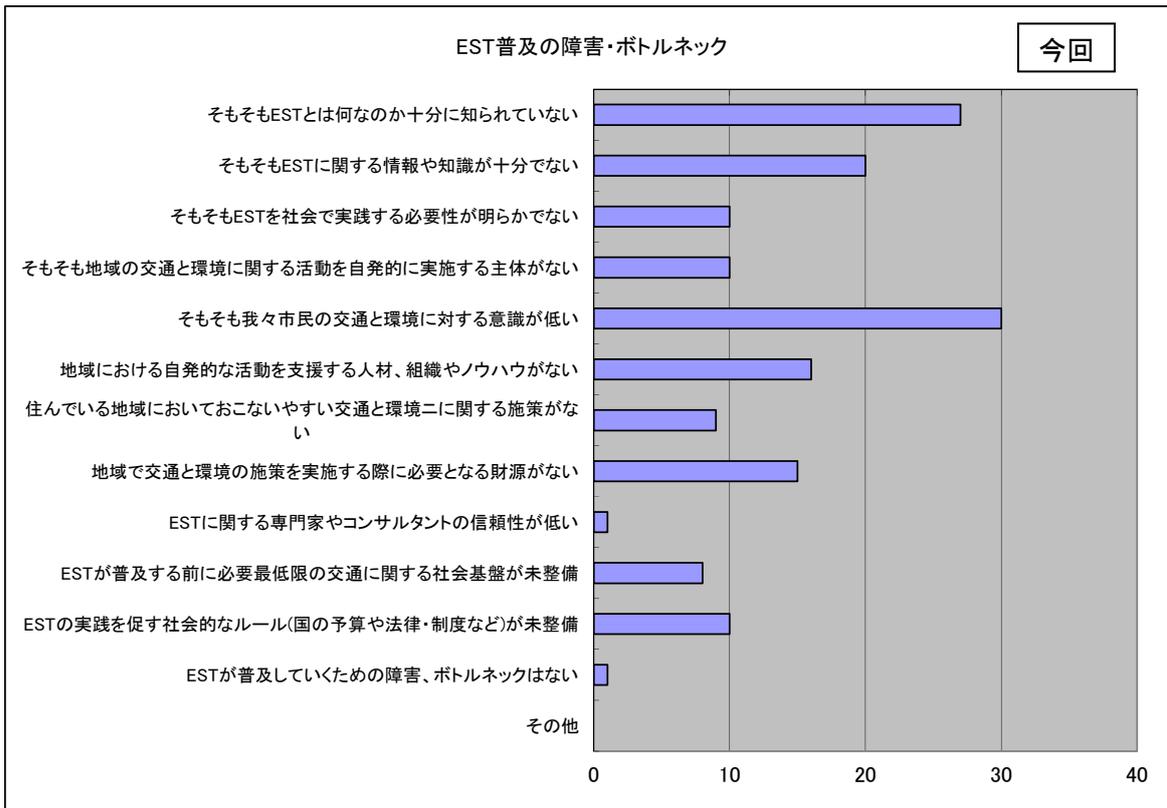
II 本日のシンポジウムのテーマであるESTの普及推進についてお聞きします。

Q 1 現在、あなたは交通と環境の分野において、どのような取組みをしていますか？



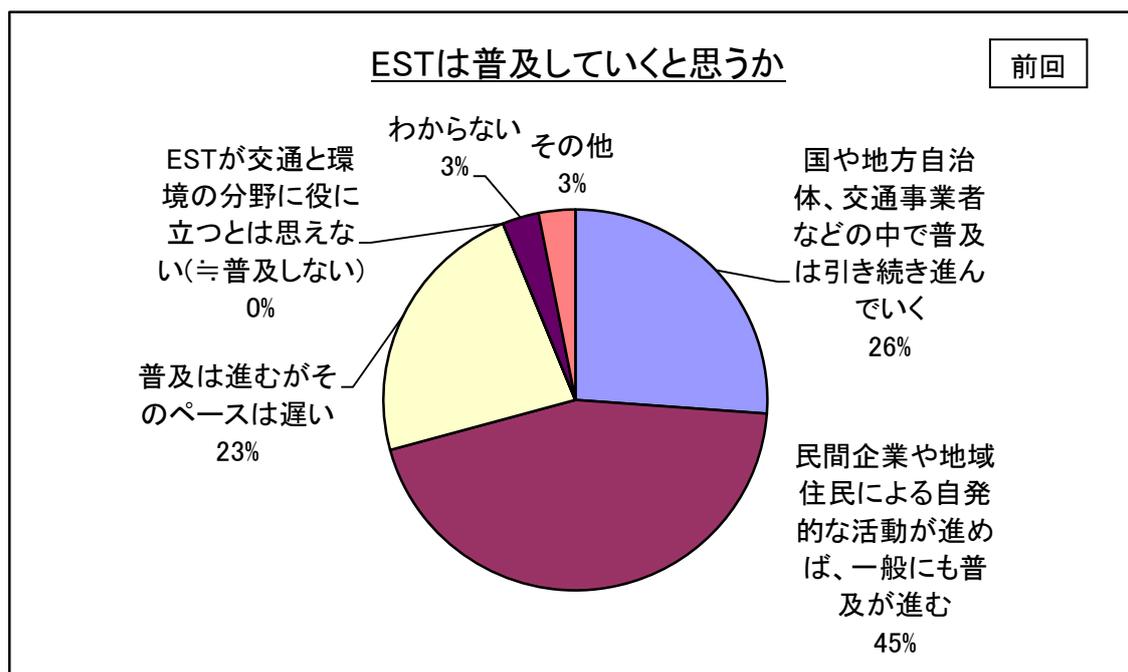
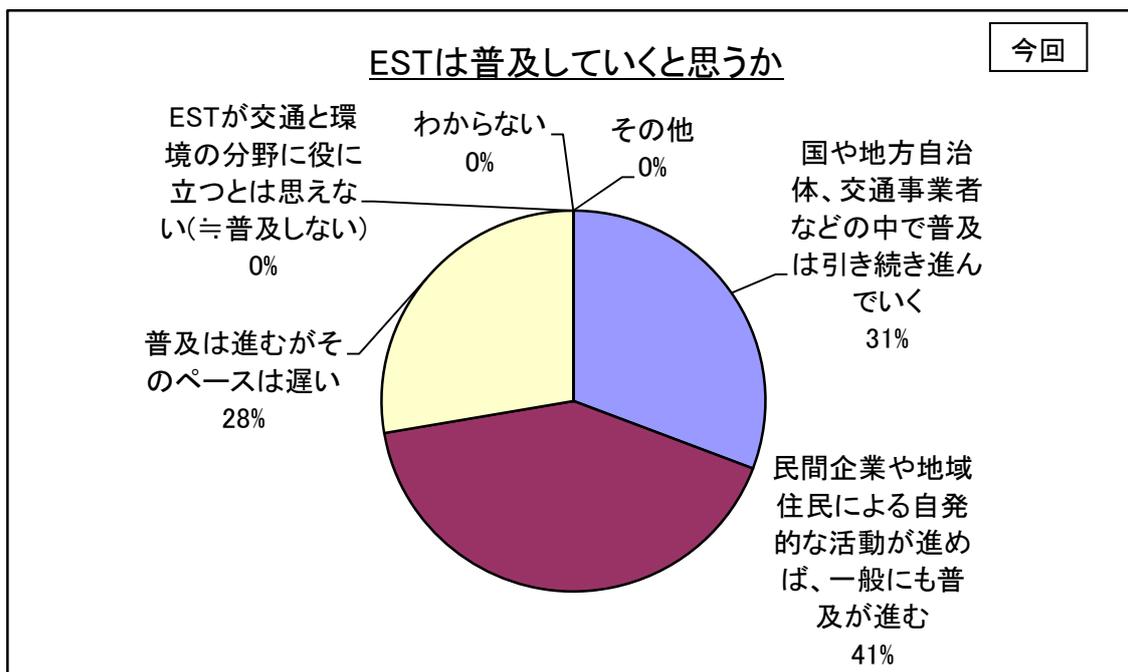
・前回と同様、現在参加者が取組んでいる活動は、交通と環境の実務に従事、交通と環境の分野に注目と回答した参加者が多かった。

Q2 現在、ESTが普及していくためには、何が障害、ボトルネックになっていると日頃お感じになりますか？



・ EST普及の障害、ボトルネックについて、前回と同様、そもそも我々市民の交通と環境に対する意識が低い、そもそもESTとは何なのか知られていない、そもそもESTに関する情報や知識が十分でない、と回答する参加者が多かった。

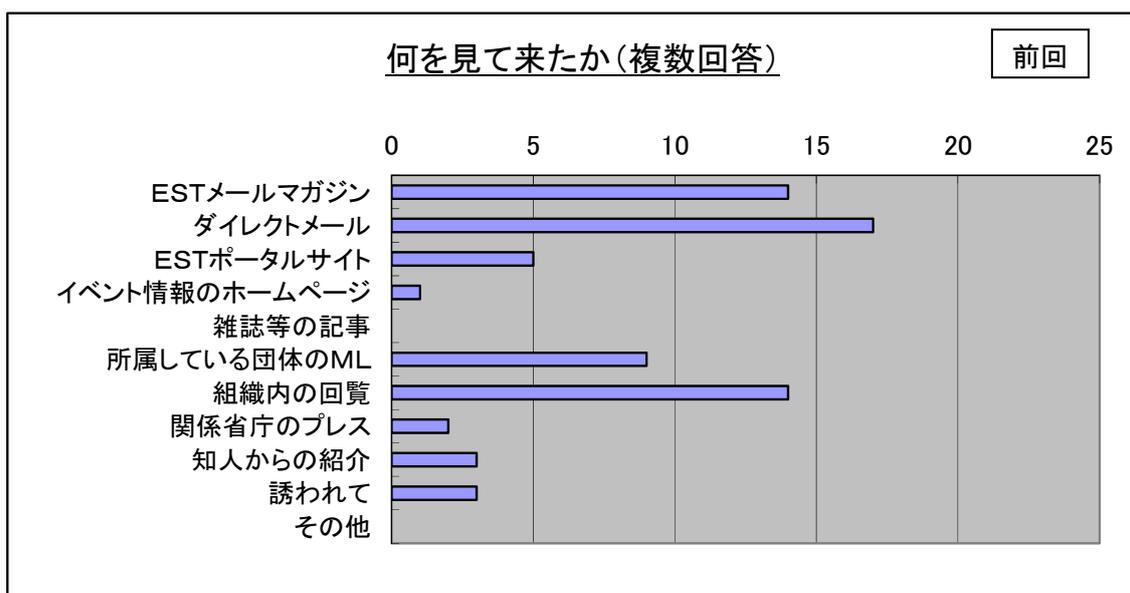
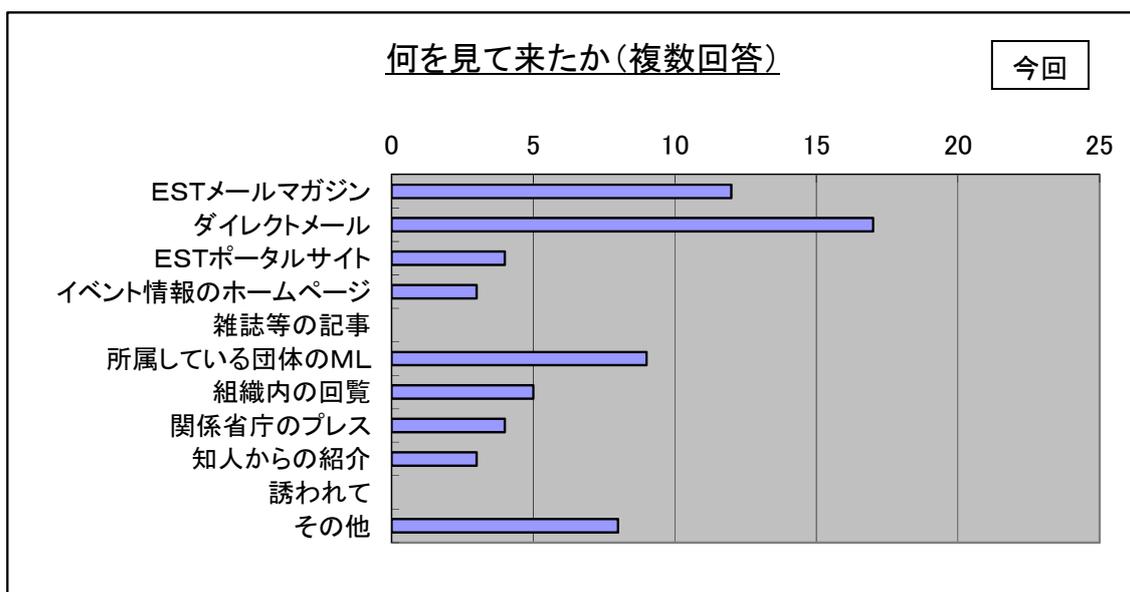
Q 3 今後、ESTは普及していくと思いますか？



・ ESTの普及に関して、前回と同様、民間企業や地域住民による自発的な活動が進めば、一般にも普及が進むと考えている参加者が最も多く、次いで、国や地方自治体、交通事業者などの中で普及は引き続き進んでいく、普及は進むがそのペースが遅いと考えている参加者が多かった。

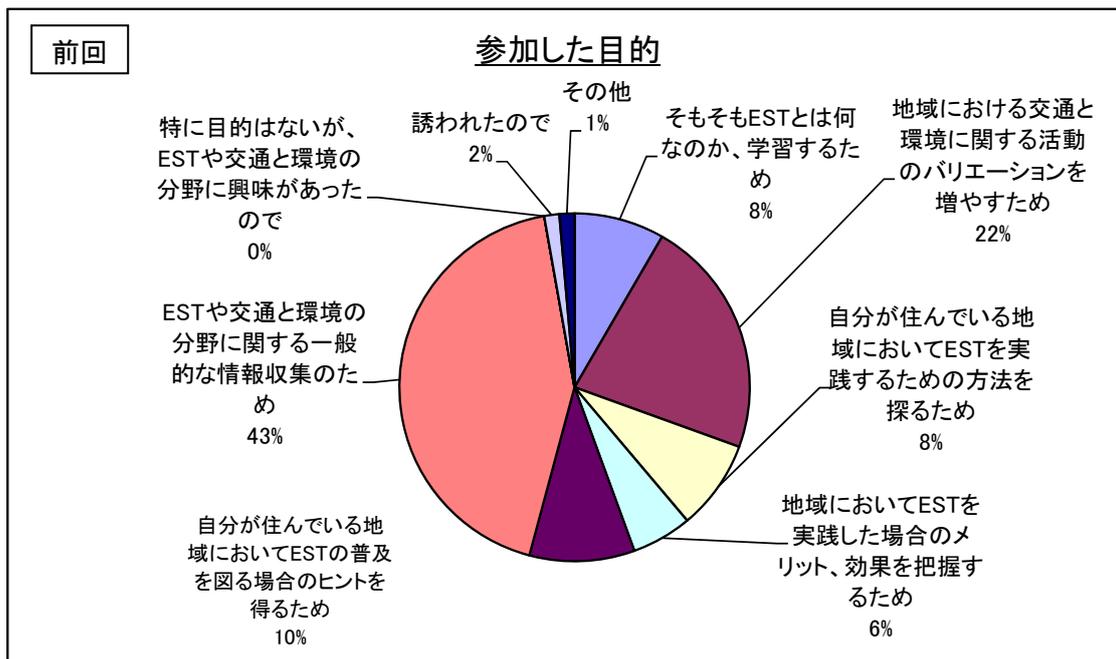
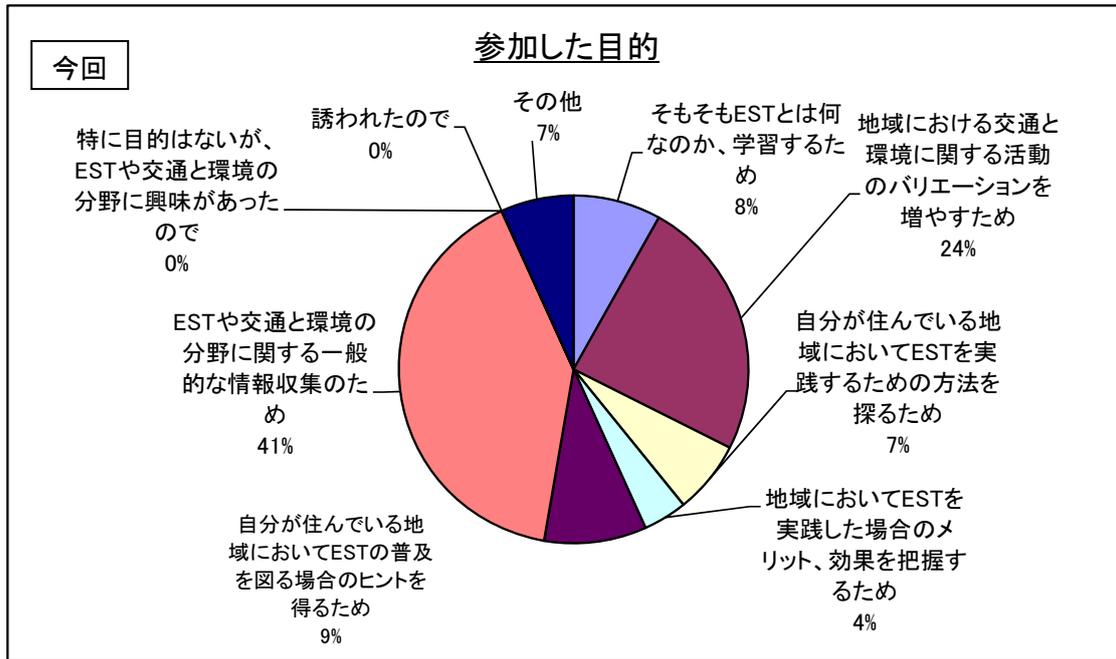
Ⅲ 本日のシンポジウムについてお聞きします。

Q 1 何を見て来られましたか？



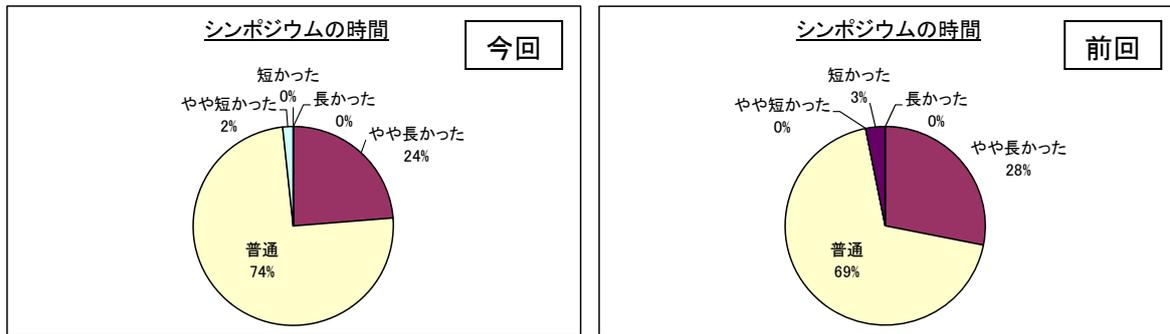
- ・ダイレクトメールを見て参加した参加者が最も多く、次いで、EST メールマガジン、所属している団体のMLが多かった。

Q 2 今日のシンポジウムに参加した一番の目的は何でしたか？



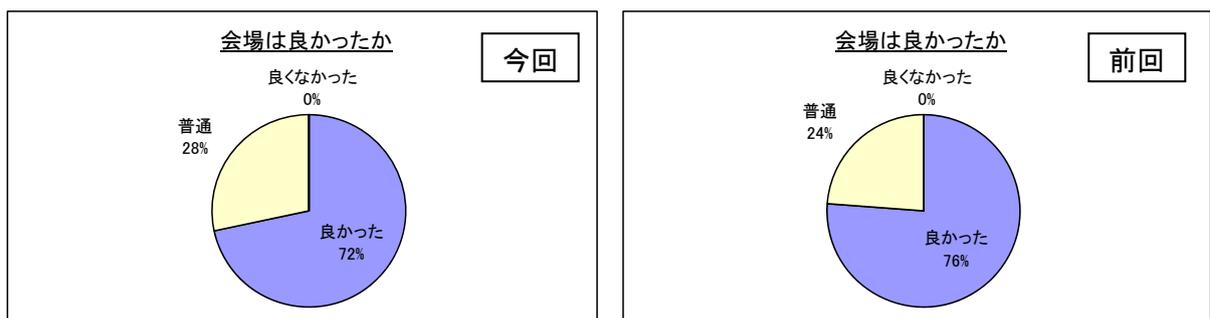
- ・前回と同様、EST や交通と環境の分野に関する一般的な情報収集のために参加する参加者が最も多く、次いで地域における交通と環境に関する活動のバリエーションを増やすために参加する参加者が多かった。

Q 3 今日のシンポジウムの時間の長さはいかがでしたか？



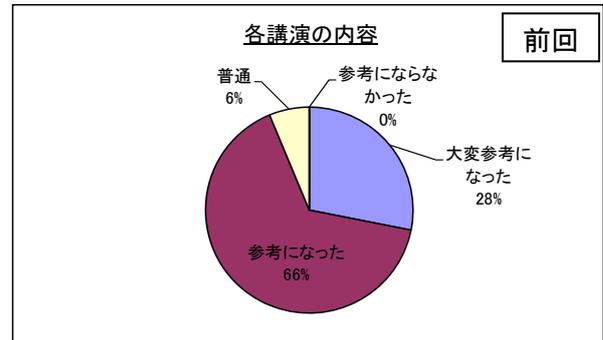
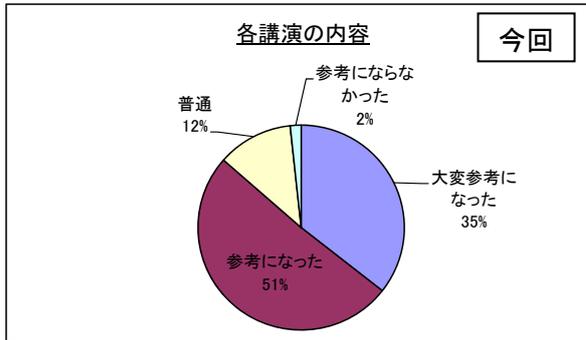
・前回と同様、シンポジウムの時間は概ね普通で、やや長かったと感じる参加者もいた。

Q 4 会場はいかがでしたか？



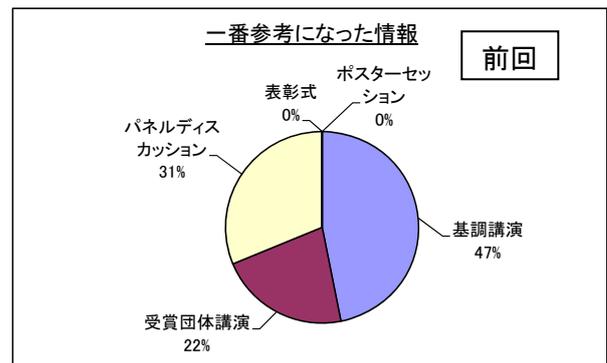
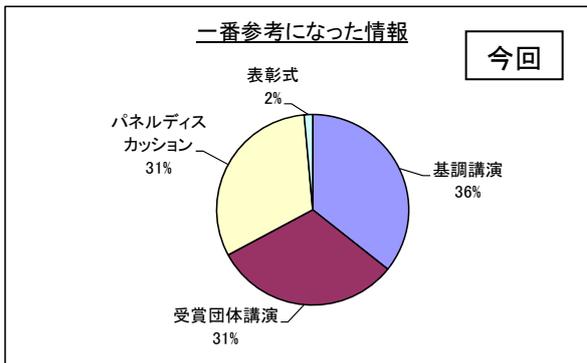
・会場は良かったと回答する参加者が多く、次いで普通と回答する参加者が多かった。

Q 5 各講演内容はいかがでしたか？



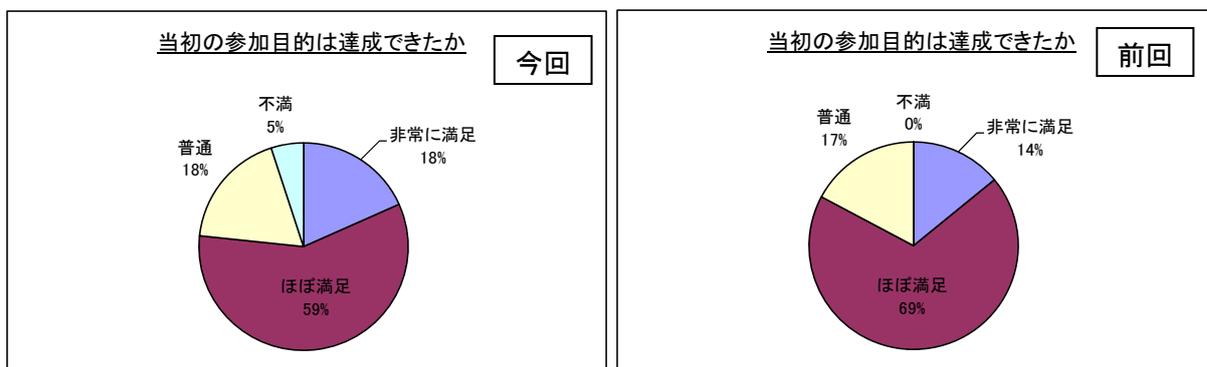
・前回と同様、参考になった、大変参考になったと回答した参加者が多く、前回と比較して、大変参考になったと回答した参加者が増えた。

Q 6 一番参考になった情報は何か？



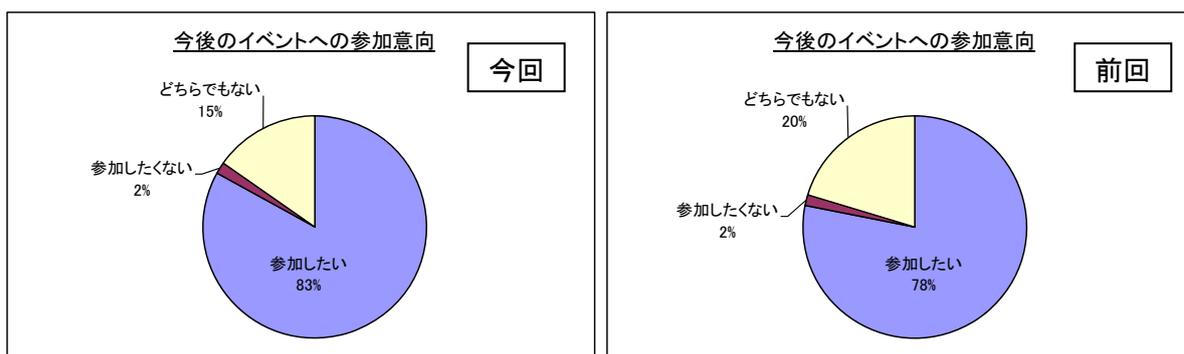
・基調講演が参考になったと回答する参加者が最も多く、受賞団体講演、パネルディスカッションが参考になったと回答する参加者が同数程度いた。

Q 7 総合的に、今日のシンポジウムに対する当初の参加目的は達成できましたか？



・前回と同様、非常に満足、ほぼ満足と回答した参加者が多かった。

Q 8 今後の EST 関連の各種イベントへの参加意向についてはいかがですか？



・前回と同様、EST 関連の各種イベントに参加したいと回答した参加者が多かった。

以上

Q 9 主な自由意見（今後取り上げて欲しい交通と環境に関するテーマ、日ごろお感じになっている EST に関する課題など、ご意見がございましたらご自由にお書き下さい。）

- ・「コンパクトシティ+ネットワーク」の実現化の動きと、それぞれの理論による根拠、検討について。
- ・都市計画と交通政策との連携は重要。しかし前者は目指すものであり、後者は目標は同じであるものの、時系的にどう目標を達成するのかプロセスも考えなくてはならない。どのようなプロセスをえればよいのか、今後、講演等をお願いしたい。
- ・市民を含む様々な主体の連携や自転車の活用（自動車からの転換）が必要と思うが、事例とノウハウが少ないと思う。
- ・交通事業者と自治体の連携やパートナーシップの成功事例等の話を聞いてみたい。
- ・施策前後の交通行動の変化。データ等での客観的評価方法（効果の評価）。
- ・ビッグデータの活用と省エネ。海外展開について（システム輸出の最前線等）。
- ・ESTにもう少し自動運転技術を導入していくべきではないでしょうか。先の話ではすまないと感じています。環境以外の多くの交通問題のためにも。
- ・小学生や中学生が10年先、20年先を考えられるような資料を作成してはどうか。
- ・都内や都市圏のように事業者が多数である中で、事業者として選定されるにはどうしたらいいか。
- ・MMの取組み（先行事例等）。
- ・ビッグデータを活用した将来像。
- ・安心・安全・減災。

以上